

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年5月14日
【四半期会計期間】	第17期第1四半期（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
【会社名】	株式会社グローバル・リンク・マネジメント
【英訳名】	GLOBAL LINK MANAGEMENT INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金 大仲
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
【電話番号】	(03)6415-6525（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 富永 康将
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
【電話番号】	(03)6415-6525（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 富永 康将
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期 連結累計期間	第17期 第1四半期 累計期間	第16期
会計期間	自2020年1月1日 至2020年3月31日	自2021年1月1日 至2021年3月31日	自2020年1月1日 至2020年12月31日
売上高 (千円)	4,784,076	6,459,350	24,313,146
経常利益又は経常損失() (千円)	116,997	14,712	816,299
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失() (千円)	88,361	450,441	558,405
持分法を適用した場合の投資損失 () (千円)	-	2,606	1,823
資本金 (千円)	500,097	516,860	516,860
発行済株式総数 (株)	7,564,640	7,735,140	7,735,140
純資産額 (千円)	3,670,507	4,217,926	4,038,214
総資産額 (千円)	22,192,865	21,457,544	18,232,384
1株当たり四半期(当期)純利益又 は1株当たり四半期純損失() (円)	11.68	58.23	73.41
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	57.06	71.09
1株当たり配当額 (円)	-	-	35.00
自己資本比率 (%)	16.5	19.7	22.1

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で当社の連結子会社である株式会社グローバル・リンク・パートナーズを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第1四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、主要な経営指標等の推移については、第16期第1四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表について、第17期第1四半期累計期間は四半期財務諸表について、第16期は財務諸表について記載しております。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

2021年1月1日付で当社の連結子会社である株式会社グローバル・リンク・パートナーズを吸収合併しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響については、今後の推移状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられ、依然先行きは不透明な状況にあります。

首都圏のマンション市場においては、2021年3月の新規マンション発売は前年同月比44.9%増の3,103戸となり、活況を呈し始めております(株式会社不動産経済研究所調べ)。

投資用不動産市場においては、近年の資産形成の一環としての投資用不動産に対する関心の高まりから個人投資家からの一定の需要は見込めるものの、新型コロナウイルス感染症終息への道筋はいまだに見えず、予断を許さない状況であります。

このような経済状況のもとで、当社は、レジデンス(マンション)商品の開発・販売を中心として事業展開をしてまいりました。また、2021年1月1日に当社の完全子会社である株式会社グローバル・リンク・パートナーズを吸収合併したことにより、同社から受け入れた純資産と当社が所有する同社株式の帳簿価額との差額442百万円を抱合せ株式消滅差益として特別利益に計上しました。

この結果、当第1四半期累計期間は、売上高6,459,350千円、営業利益89,400千円、経常利益14,712千円、四半期純利益450,441千円となりました。

セグメントごとの業績(売上高は外部顧客への売上高)は、次のとおりであります。

(不動産ソリューション事業)

当第1四半期累計期間は、「アルテシモ ヴェレ(大森東2丁目PJ)」、「アルテシモ アクレ(西五反田5丁目PJ)」といった新築物件や中古物件を31戸区分販売しました。また1棟販売を3棟実施しております。

この結果、当セグメントの売上高は5,801,686千円、セグメント利益は51,629千円となりました。

(プロパティマネジメント事業)

当第1四半期累計期間は、「アルテシモ ヴェレ(大森東2丁目PJ)」、「アルテシモ アクレ(西五反田5丁目PJ)」といった新築物件のプロパティマネジメント業務を新規受託し、管理戸数が2,452戸となりました。

この結果、当セグメントの売上高は657,663千円、セグメント利益は37,770千円となりました。

財政状態

当第1四半期会計期間末において、流動資産20,525,297千円(前事業年度末比3,242,397千円増)、固定資産932,247千円(同17,237千円減)、流動負債10,753,719千円(同1,629,010千円増)、固定負債6,485,898千円(同1,416,437千円増)、純資産合計は4,217,926千円(同179,711千円増)となりました。

前事業年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりであります。

竣工した物件の増加により販売用不動産が2,217,417千円増加し6,632,941千円、開発用の土地の仕入れにより仕掛販売用不動産が971,701千円増加し11,682,953千円となりました。短期借入金が3,559,889千円増加し4,259,521千円、1年内返済予定の長期借入金が700,571千円減少し5,968,124千円、未払金が1,107,249千円減少し44,509千円、長期借入金が1,301,218千円増加し6,211,248千円となりました。これら負債の増減は全体としておおむね前述の在庫の変動に伴うものであります。

このほか、現金及び預金が196,133千円減少し1,245,179千円となりました。

(2) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期累計期間において、当社が優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,600,000
計	25,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2021年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,735,140	7,760,640	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	7,735,140	7,760,640	-	-

(注) 2021年4月19日開催の取締役会決議により、2021年5月7日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行いました。これにより株式数は25,500株増加し、発行済株式総数は7,760,640株となっております。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
2021年1月1日～ 2021年3月31日	-	7,735,140	-	516,860	-	316,860

(注) 2021年5月7日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行により、発行済株式総数が25,500株、資本金及び資本準備金がそれぞれ12,303千円増加しております。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2021年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,731,600	77,316	-
単元未満株式	普通株式 3,540	-	-
発行済株式総数	7,735,140	-	-
総株主の議決権	-	77,316	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）に係る四半期財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（2007年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,441,313	1,245,179
販売用不動産	4,415,523	6,632,941
仕掛販売用不動産	10,711,251	11,682,953
貯蔵品	1,773	2,403
前渡金	464,513	499,194
その他	248,523	465,135
貸倒引当金	-	2,510
流動資産合計	17,282,899	20,525,297
固定資産		
有形固定資産	257,103	252,450
無形固定資産	114,846	117,884
投資その他の資産		
その他	579,634	564,012
貸倒引当金	2,100	2,100
投資その他の資産合計	577,534	561,912
固定資産合計	949,484	932,247
資産合計	18,232,384	21,457,544
負債の部		
流動負債		
短期借入金	699,632	4,259,521
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	6,668,695	5,968,124
未払金	1,151,759	44,509
未払法人税等	294,497	4,295
賞与引当金	-	44,170
その他	282,125	405,098
流動負債合計	9,124,709	10,753,719
固定負債		
社債	158,000	158,000
長期借入金	4,910,029	6,211,248
転貸事業損失引当金	-	21,178
その他	1,430	95,471
固定負債合計	5,069,460	6,485,898
負債合計	14,194,169	17,239,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,860	516,860
資本剰余金	316,860	316,860
利益剰余金	3,204,493	3,384,205
株主資本合計	4,038,214	4,217,926
純資産合計	4,038,214	4,217,926
負債純資産合計	18,232,384	21,457,544

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,459,350
売上原価	5,662,799
売上総利益	796,550
販売費及び一般管理費	707,150
営業利益	89,400
営業外収益	
受取利息	12
受取配当金	195
雑収入	157
営業外収益合計	364
営業外費用	
支払利息	74,465
その他	587
営業外費用合計	75,052
経常利益	14,712
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	442,350
特別利益合計	442,350
税引前四半期純利益	457,062
法人税、住民税及び事業税	8,677
法人税等調整額	2,056
法人税等合計	6,620
四半期純利益	450,441

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間
(自 2021年1月1日
至 2021年3月31日)

減価償却費 21,137千円

(株主資本等関係)

当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年2月22日 取締役会	普通株式	270,729	35	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金

(持分法損益等)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	49,000
持分法を適用した場合の投資の金額	44,569

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失の金額	2,606

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	不動産ソリューション事業	プロパティマネジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,801,686	657,663	6,459,350	-	6,459,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,012	14,419	24,432	24,432	-
計	5,811,699	672,083	6,483,782	24,432	6,459,350
セグメント利益	51,629	37,770	89,400	-	89,400

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年10月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社であった株式会社グローバル・リンク・パートナーズを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結し、2021年1月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

吸収合併消滅会社

名称	株式会社グローバル・リンク・パートナーズ
事業の内容	プロパティマネジメント事業

吸収合併存続会社

名称	株式会社グローバル・リンク・マネジメント
事業の内容	不動産ソリューション事業

(2) 企業結合日

2021年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社グローバル・リンク・パートナーズを消滅会社とする吸収合併

(4) 企業結合後の名称

株式会社グローバル・リンク・マネジメント

(5) その他取引の概要に関する事項

意思決定の迅速化や柔軟化に加え追加的な事務負担の削減や経営効率の改善を目的とし、企業価値向上のスピードを加速してまいります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定の基礎は、次のとおりであります。

	当第 1 四半期累計期間 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 3月 31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	58円23銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益 (千円)	450,441
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	450,441
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,735,140
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	57円06銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額 (千円)	-
普通株式増加数 (株)	159,520
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2021年4月19日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行(以下、「本新株発行」という。)を行うことを決議し、2021年5月7日に払込が完了いたしました。発行内容は以下の通りです。

1. 発行の概要

(1) 払込期日	2021年5月7日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 25,500株
(3) 発行価額	1株につき 965円
(4) 発行総額	24,607,500円
(5) 割当予定先	当社の取締役() 5名 25,500株 監査等委員である取締役及び社外取締役を除く
(6) その他	本新株発行については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

2. 発行の目的及び理由

当社は、2020年2月21日開催の取締役会において、当社の業務執行取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下「対象取締役」という。)が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、取締役在任期間中の株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、対象取締役に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入することを決議いたしました。

また、2020年3月25日開催の第15回定時株主総会において、対象取締役に対し、一定の譲渡制限期間及び当社による無償取得事由等のために服する譲渡制限付株式を割当てることとし、当該譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額100百万円以内とすること(ただし、第15回定時株主総会でご承認いただいた取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬限度額年額300百万円以内(この金額には使用人兼務取締役の使用人分給与を含まない。))とは別枠になります。)について、ご承認をいただいております。

2021年4月19日開催の取締役会により、第16回定時株主総会から2022年3月開催予定の第17回定時株主総会までの期間に係る譲渡制限付株式報酬として、割当予定先である対象取締役5名(以下、「割当対象者」という。)に対し、金銭報酬債権合計24,607,500円を支給し、割当対象者が当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法によって給付することにより、特定譲渡制限付株式として当社普通株式25,500株を割り当てることを決議いたしました。なお、本制度の導入目的を可能な限り長期にわたって実現するため、譲渡制限期間を譲渡制限付株式の交付日から当社の取締役、執行役員及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職する日までの期間としております。

2【その他】

2021年2月22日開催の取締役会において、第16期期末配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額	270,729千円
--------	-----------

1株当たりの金額	35円
----------	-----

支払請求の効力発生日及び支払開始日	2021年3月29日
-------------------	------------

(注) 2020年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年5月14日

株式会社グローバル・リンク・マネジメント
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 芳野 博之
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 小川 伊智郎
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グローバル・リンク・マネジメントの2021年1月1日から2021年12月31日までの第17期事業年度の第1四半期会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グローバル・リンク・マネジメントの2021年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者並びに監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・四半期財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。